

# ティフ星人は、パセリを食べる

“植民地” 支配 - 抑圧する者とされる者の関係を考えるワークショップ

このワークショップは、植民地支配の歴史を、古来からその土地に住んでいた先住民族など支配された側の人々の視点から捉え直し、その意味を改めて考えることをねらいとするものです。

今回、このワークショップの制作者の一人である荒川共生(ともお)さんを、ファシリテーターとしてお招きし、サラワクの人々の事例を通して考えてみたいと思います。

## ●ファシリテーター／荒川共生さん(アジア・ボランティア・センター(AVC))

講師紹介: 小学校4～6年生の3年間をマレーシア・サラワク州で過ごす。1998年よりAVCのプログラムを担当。サラワク州の先住民族コミュニティの生活向上を目指した国際協力活動などを行っている。大阪女学院大学非常勤講師、関西NGO大学運営委員。

### 「ティフ星人はパセリを食べる(サラワク編)」プログラム

- 9:30 受付
- 10:00 ワークショップⅠ～ティフ星人がやってきた!
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 ワークショップⅡ～史実のカード(サラワク編)・私の願い
- 15:00 サラワク研修旅行報告、参加者振り返り、感想文記入等
- 15:30 終了

※ワークショップ終了後、交流会も予定しています(自由参加)

※この教材は、1994年にカナダのVIDEAから出版されたワークショップ教材「500年前」(500 YEARS AGO - Re-discovering the colonialism)をもとに、ティフ・プロジェクトが、日本版として制作したものです。現在、日本版には「A 北海道(アイヌ民族)」「B 朝鮮半島(コリア民族)」「C マレーシア・サラワク州(イバンなどの先住民族)」の三通りのアクティビティが用意されています。今回は、サラワク編をとおして学びます。

🕒 **とき** / 2008年5月18日(日) AM10:00～15:30 (9:30 受付)

● **ところ** / 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟研修室  
広島市中区袋町6番36号(袋町小学校隣)

○ **対象** / どなたでも、ご参加いただけます。 ● **定員** / 40名

● **参加費** / 500円(資料代・お茶菓子代です。マイカップをご持参下さい)

♥ **主催** 地球市民共育塾ひろしま

URL [http://www.geocities.jp/kyoikujuku\\_hiroshima/index.html](http://www.geocities.jp/kyoikujuku_hiroshima/index.html)

✳ **参加申込み先** [h-nakasuka@nifty.com](mailto:h-nakasuka@nifty.com) へ電子メールで、お名前(ふりがな)、連絡先を添えて、5月13日(火)までにお申込み下さい。また、下記住所までハガキでもお申し込みいただけます。(まちづくり市民交流プラザに直接申し込むこともできます。)

○ **連絡先** 〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

広島市まちづくり市民交流プラザ内 メールボックスNo.7 地球市民共育塾ひろしま